



2016年 第6回 スペシャルオリンピックス日本 冬季ナショナルゲーム・新潟 開催

2月12日(金)～14日(日)の3日間、新潟市と南魚沼市で、「冬季ナショナルゲーム・新潟」が開催されました。

東京選手団は、アスリート61名とコーチ、スタッフ合わせて88名が、アルペンスキー、フロアホッケー、ショートトラックスピードスケート、フィギュアスケートの4競技に参加。練習の成果を発揮して、精いっぱい頑張ったアスリートたちの活躍を、次ページ以降詳しくご紹介します。



©Special Olympics Nippon

2016年度定期総会&活動報告会を開催

認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京の2016年度定期総会が3月12日(土)、東京YMCA東陽町センター・視聴覚室で開催され、2015年度の事業報告及び活動計算書と、2016年度の活動方針及び事業・活動計画並びに活動予算書が承認されました。

総会後、会場をセンター内の食堂に移して、2015年度に協賛・協力をいただいた企業・

団体の方々に、SON・東京の活動報告会を行いました。「夏季世界大会・ロサンゼルス」と「2016年 第6回 SO 日本 冬季ナショナルゲー

ム・新潟」の選手団報告では、アスリートの活躍に大きな拍手が送られました。最後に感謝の意を込めて、感謝状を贈呈いたしました。



ご覧ください! 2016 SO日本冬季ナショナルゲーム・新潟 東京選手団の活躍

アルペンスキー [南魚沼市五日町スキー場] アスリート17名 コーチ7名 スタッフ2名

上級に3人出場! 5つの金メダルと大活躍

五日町スキー場は、新潟県の豪雪地帯。例年ならたっぷりあるはずの雪が、今年は天候異変で、あちこちに土が見えるほど。コース整備は大変だったとか。

初日は春のような暖かさ、2日目はなんと雨でし



たが、東京選手団は、ジャイアントスラローム(GSL)上級に3人、中級に12人、初級に2人が出場して、それぞれが湯の丸スキー場での合宿の成果を十分に発揮しました。メダルに届かず、悔し涙を流すアス



リートもいましたが、上級GSLの男子ディビジョン1をはじめ、トータルで金メダル5つと大活躍。サポートに尽力したコーチ、熱い声援を送ったファミリーの期待に応えました。



フィギュアスケート [新潟市アサヒアレックスアイスアリーナ] アスリート15名 コーチ4名 スタッフ2名

東京のアスリートたちも大活躍! 安藤美姫さんからメダル授与

氷上競技が行われたアイスアリーナは、氷の冷気でひんやり。しかし、応援に沸く観客席は、そんな冷気を跳ね返すような熱気でいっぱいでした。

フィギュアスケートは13日(土)の午前中にコンパルソリーとフリープログラムの公式練習を行い、



14日(日)にそれぞれの種目による演技の合計得点によって、総合的な順位を決定しました。

予選、決勝ともにアスリートは皆、緊張した面持ちながら、しっかりととした動きで演技を行い、会場からの拍手を受けて楽しそうに応援に応えていました。



その結果、金メダル3つ、銀メダルを3つ、銅メダル2つ、その他にも各順位のリボンを、それぞれ獲得。表彰式では、あこがれの安藤美姫さんからもその栄誉をたたえられ、皆、喜びと誇らしげな表情でいっぱいでした。



スピードスケート [新潟市アサヒアレックスアイスアリーナ] アスリート10名 コーチ3名 スタッフ1名

出場アスリート全員がメダル獲得! 全力レースに観客も感動

ショートトラックス・スピードスケートは13日(土)に予選を2回、14日(日)に決勝を行いました。

出場したアスリート全員が、観戦するファミリーやアスリートの声援に応え、日頃の練習の成果を存分に発揮。全員がメダル獲得という華やかな結果を残

しました。しかし、予選であっても駆け引きなど一切せず、全力でレースに臨む姿はスペシャルオリンピックスのアスリートならでは。会場のそこかしこから感動の声が聞こえてきたのは、そうした雰囲気がすべての観客に伝わったからかもしれません。

土曜の夕方にはゲストスケーターによるエキシビションのアイスショーが行われ、氷上競技に参加したすべてのアスリートたちが、その素晴らしい演技を楽しみました。



フロアホッケー [新潟市朱鷺メッセ] アスリート19名 コーチ5名 スタッフ3名 プログラム創設12年、日本一という悲願を達成しました

前回大会で銅メダルだった悔しさを糧にこの4年間、「自分と仲間を信じて、全力でプレーし、全員で勝利を目指す」ことを目標に、アスリート、コーチ、ファミリーが一丸となって頑張ってきた成果です。また、今大会には個人競技にも3名が参加。全員がナショ

ナルゲーム初参加でしたが、いつも通りのプレーをし、チーム競技の応援をするなど大会自体を大いに楽しんでいる様子でした。夢や目標を持つことが難しいアスリートたちが自分の役割を理解し、みんなと協力して夢を実現できたことは、彼らにとって宝物

となるでしょう。遠方から駆けつけてくれた歴代コーチの皆さん、アスリート、ファミリー、コーチ、素晴らしい仲間に心から感謝します。
(東京winterチャレンジャーズヘッドコーチ 森本利彦)



外資系金融5社が、バスケで熱い闘い SONT Support Basketball Tournament2016

3回目となる、SON・東京を支援する外資系金融5社によるバスケットボール大会が、3月6日(日)筑波大学附属高校にて開催されました。午前中のバスケ・プログラムの練習には、企業チームのメンバーもボランティアとして加わり、アスリートたちとのふれあいを楽しみました。

一軒午後のトーナメントは、本格的なバスケットボールの試合の様をおび、熱いプレーが繰り広げられました。特に決勝戦は、ブザーとともに

同点ゴールが決まり、延長戦にもつれ込むという好試合。熱気あふれるイベントに花を添えました。

試合結果

- | | |
|------------------------|---------------------------------|
| 1位: Team Deutsche Bank | 4位: JPMorgan basketball for fun |
| 2位: Team UBS | 5位: チャレンジャーズ・コーチーズ |
| 3位: Citi Chargers | 6位: Team BNP Paribas |



WORKING
ATHLETES

働くアスリートたち

第26回

かたおかまりさん(33歳)
片岡真梨さん

今回は、「ぜひ、働いているところを見にきてほしい」と手を挙げてくれた片岡真梨さんの職場、スターバックス神田駅前店を訪ねました。

▶ お客様から見える職場で働く

「スターバックス コーヒージャパン」は障害者雇用に理解があり、数多くのお店で障害のある人たちが働いています。営業本部ディストリクトマネージャーの浅井亜弓さんによれば、「会社として障害者雇用のプログラムはありますが、各店舗でご本人と話し合って目標を決め、個性や特性を生かすことを大事にしています」とのこと。

神田店は営業を始めて15年。1階・2階の店内は、周辺企業のビジネスマンを中心に賑います。片岡さんが就職したのは2006年で、在籍は一番長く、主に洗い物を担当しています。一昨年夏の改装で、洗い場はバックルームからお客様から見える位置に移動しました。

マグカップを洗ったり、ドリンク作りの備品を定期的に交換したり、ゴミ箱からゴミを集めたり、お店の周囲



洗い物をきれいに

を掃除したり、今年から新たに牛乳パックを洗浄して折り込んでまとめる仕事も加わりました。従業員の1人が作成してくれた作業手順の写真を見ながら、片岡さんは家で練習したそうです。

「牛乳パックは、覚えるまで大変でした。折るところが難しかったです。店長はやさしいです。みんなと仲良く仕事をしています」

仲のいいアルバイトの女性と一緒に映画を見に行くこともあります。

▶ お店のムードメーカーとして頑張ってほしい

昨年9月に異動してきた店長の中嶋太郎さんは、以前にも聴覚や知的の障害のある人たちと働いた経験を持っています。

「障害のある人たちを特別扱いをしないことが大前提ですね。一社会人として接することは、スターバックスのどのお店でもしっかりと意識されていると思います。片岡さんは、非常にまじめで、お願いした業務をやり切る責任感が人一倍強いと思います。今年から新しい仕事も始め、お店への貢献度が一段と上がりました」

中嶋さんは、片岡さんの仕事ぶりに期待を寄せています。

「カウンター越しに下げられるカップやトレーなどを、『ありがとうございます』と声をかけて受

け取っています。お客様の入退店のときも、『こんにちは』、『ありがとうございます』と元気な声で挨拶しています。お店のムードメーカー的な存在になりつつあるので、これからもお店に活力を与えてくれるような従業員であってほしいと思っています」

勤務は、平日の10時から17時。「お客様と接するので、言葉を気を付けています。洗い物が楽しい。いつかレジに立ってみたい。これからも働き続けたいです」

そう答える片岡さんから、働く誇りが伝わってきました。

(フロアホッケープログラムに参加)



中嶋店長と片岡さん

SSKR NEWS LETTER とらいあんぐる ニュースレター Vol.68

ホッピス ティップ キング ▶アスリート:武田和幸さん 母:武田美紀子さん
Vol.12

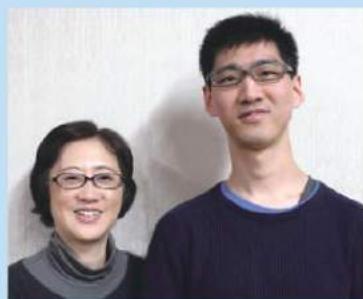
和幸が生まれたのは新潟市内でした。初めての子供で嬉しくて、いろんなことを夢みながら子育てに入りました。夫が転勤族ということもあり、地元の両親のそばで子供を産みたいと思い、2人目もすぐに出産。そして2年後初めての転勤で鎌倉へ引越しました。

新潟にいる頃から少し少しずつ何かおかしいと思いつつも、年子の子育てに追われる日々。幼稚園時代はかなりユニークな教育方針の園で、和幸のことを相談しても、「障がい児として違った環境におくのですか?」と言われ、そのまま他の子と同じ環境での園生活を送り、小学校へ入学しました。

その後、和幸が3年生、下の子が1年生になるときに東京へ引越し、そこで遅ればせながら初めて脳波検査をしたりして障がいと向き合うことになりました。幼少期を障がいと認識することから避け、悩みながらも、男の子だからただ遅いだけなのではという祈りと、「どうして、できないの!」と怒りながら子育てをしてしまったことにとても後悔し、受け入れることで親の心の落ち着きを取り戻せたように思いました。

それからは、学校選びなど分岐点ごとに考えられるだけ考えて、どの選択が和幸にとって一番良いのかを決めてきました。高等部2年生になった頃、ふと卒業後の生活を思う

「安心できる場所」をSOに見つけました



武田和幸さん 1985年生まれ 2001年SO入会。バスケットボール、ボウリング、アルペンスキーに参加

しかしながら1人で通えるようになるまでには時間がかかり、もう覚えたかな?と思つても、しばらく休みが入るとまた振り出しへという生活が2年くらい続きました。でも1人の行動範囲が広がるということは、本人の自信にもつながりました。今ではプログラムで知り合ったお友達と待ち合わせて、遊びに出掛けることもできるようになりました。それは卒業後、会社と家との往復だけになりがちな和幸の生活をどれだけ豊かにしてくれているかと考えると、とてもありがたいことだと思います。

今、和幸は31歳。親としては、いつまでも平穏な生活が続いてくれることを祈りながらも、今後、様々な問題にぶつかるだろうと心のなかでは覚悟しています。でもその時々で、和幸の味方になってくれる人、和幸を思ってくれる人が1人でも多くいて欲しいという親の願いもあります。

人は、家庭と職場以外の安心できる場所が必要と言われています。そんな願いをスペシャルオリンピックスの活動が後押ししてくれ、和幸を成長させてくれることを期待しています。そして今、この活動に関われていることに感謝し、幸せに思います。これからも1つ1つ乗り越えて、素敵人生を歩んでいくことを願っています。

ことがあり、同級生が以前から参加していたスペシャルオリンピックスに興味がわきました。それまでは、「送り迎えが大変だな~、お手伝いもあるんだろうな~」と避けていたのですが、いざ見学に行ってみると和幸自身が興味を示し、またコーチも「背が高いからリバウンドが取れるよ」と言って、和幸をやる気にさせてしまいました。そしてそのままバスケットボール、ボウリング、アルペンスキーのプログラムに参加させてもらっています。

今後の予定

- ◎4月17日(日)
バスケットボールコーチクリニック
- ◎4月23日(土)
ボート体験会
- ◎5月21日(土)、22日(日)、29日(日)、6月12日(日)
第14回SON・東京夏季地区大会
- ◎5月28日(土)、29日(日)、6月4日(土)、5日(日)
東京都障害者スポーツ大会参加



2015-2016
日本カー・オブ・ザ・イヤー
特別賞

日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会主催

日本の輸入車市場発展に対する長年の貢献が評価され、ヤナセは企業として、2015-2016 日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会特別賞を受賞いたしました。

クルマはつくらない。

クルマのある人生をつくっている。



株式会社ヤナセ www.yanase.co.jp

SON・東京オフィシャルスポンサー



J.P.Morgan



株式会社ジャイロ

SSKR NEWS LETTER とらいあんぐる vol.68

発行所:〒157-0073 東京都世田谷区砧6-26-21

特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会
編集元:認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京

編集人:岡松武司

編集スタッフ:SON・東京広報委員会/石橋泰介(デザイン)
定価:100円(代金は会費に含まれています)

Special
Olympics
Nippon
Tokyo



認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20

TEL:03-3615-5569 FAX:03-3615-5581

E-mail:office@son-tokyo.or.jp

web:<http://www.son-tokyo.or.jp>

f www.facebook.com/specialolympicssnipontokyo

Update↗

登録アスリート数:1,604名
正会員数:995名

(2016年2月29日現在)